

令和 6 年度取組事業の検討について（意見提出票取りまとめ結果）

(1) 地域ネットワーク形成による健康づくり事業	
【事業継続の可否】	
継続で良い 12名	見直した方が良い 0名
【事業内容】	
令和 5 年度と同様で良い 12名	内容を変更した方が良い 0名
【記入意見等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 地区 2 周りまでは継続で良い。その後の検討が良い。 ・ 地域を輪番で実施しているため、住民の方にとって形骸感がなく、新鮮に取組ができるため。 ・ 各市民委員会ごとの開催で実施しており、5 年に一度なので同内容であっても参加者が固定されるとは限らず、新たなものを取り入れながら工夫して開催できると思う。 ・ 西御料地会館は狭そうなので、小学校体育館を借用すると良い。 (西御料地小・佐藤校長はR3ロコモ実行委員) ・ まち協委員を務める前から学生ボランティアとして事業に参画してきたが、食事や運動について幅広い視点でロコモについて知ることができる内容に変容しており、良いと考える。 	
(2) 緑が丘地域防災事業	
【事業継続の可否】	
継続で良い 10名	見直した方が良い 1名
【事業内容】	
令和 5 年度と同様で良い 7名	内容を変更した方が良い 4名
【記入意見等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に新しいことを取り入れていくのが望ましい。 ・ 親子の活動は良かった。次年度も続けるのなら、内容を検討してみるのが良いのではないかと。(継続も可) ・ 防災は毎年行っているが、内容を都度協議しており、ロコモ同様形骸感なく実施できるため。 ・ 毎年内容が変わり、充実している。 ・ R5事業は十分に成果があったと思うが、対象を変えることもあり得るし、R4以前の「リーダー研修会」を振り返り、その内容を変えることもあると思う。将来的には、地域の防災体制組織づくりを考えていくことも必要と思う。 	
(3) 緑が丘まち協広報誌発行事業	
【事業継続の可否】	
継続で良い 11名	見直した方が良い 0名
【事業内容】	
令和 5 年度と同様で良い 9名	内容を変更した方が良い 2名
【記入意見等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ まち協の取組の周知はまち協の課題でもあるため。 ・ 広報誌の発行は、まちづくりを地域住民みんなで考える上で大切なことだと思う。 全戸配布で充実させていくことを望む。 ・ 全戸配布を。(予算の範囲内でのページ組みを検討) ・ 新委員で色々考えることが良いと思う。 	

(4) 5地区ふれあい交流事業	
【事業継続の可否】	
継続で良い 10名	見直した方が良い 0名
【事業内容】	
令和5年度と同様で良い 4名	内容を変更した方が良い 6名
【記入意見等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5地区の市民委員会が協働できるのは、まち協の特徴でもあるため。 ・ R5が初の試みだったので、当然内容の変更はあるものと考えているが、今年度の種目を振り返って、伝統的に継続するものがあったとしても良いし、種目の増減、規模の大小など何年かかけて作り上げていってはどうか。参加者の評価も高いように思う。 ・ R5は構想が固まったのが遅かったため、屋外行事が複数できなかったため、R6はスタートを早めて多種多様な取組を大いに期待したい。 ・ 〈屋外〉大人数参加型（数百名参加）企画の検討 ・ 内容は検討して決める。 ・ 何年かは継続してみる。 ・ 資料で参加人数はわかったが、参加者層が不明であり、もし高齢者が多いなら「5地区ふれあい交流事業～高齢者の交流の場づくり～」と若干の名称変更が必要であると考えているが、情報が不足しており判断できない。 ・ ペタンク→ポッチャヘ フロアカーリング・健康麻雀→継続 紙ヒコーキ→？ 	
(5) その他新規事業（既存事業と入替又は追加）	
「地域の課題」の中で、取り組んだら良いと思う未実施の分野（複数選択可）	
① 高齢者のニーズの把握	4名
② 高齢者の交流の場づくり	3名
③ 見守り事業における各地域団体同士の情報共有	2名
④ 文教地区の強みの活用	1名
⑤ ひとり暮らしの高齢者世帯の除排雪	2名
⑥ 子ども110番の家の周知	2名
⑦ ボランティア人材の確保	3名
⑧ その他	3名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5地区持ち回りの研修・講演・情報（暮らし）みたいなもの ・ 初年度の取組として、ふれあい交流事業は大変手をかけた部分があるが、①②の課題が少し見えてきたように思う。内容によっては③・④・⑦などに焦点が拡げられないかと期待もある。 ・ 子どものニーズの把握 	
事業内容（選択した分野に係る具体的な実施案等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ③について、コロナの影響もあると思うが、地区内の関係機関の連携した研修会や会議などを持つことはできないか。このことは⑤・⑥・⑦にも関連することになる。この主体が「まち協」となるかは判断できないが、市民委員会にしても民生委員にしても地区社協を含めて情報共有には各団体課題を抱えているのが現状。 ・ ①と②で「5地区高齢者ふれあい交流事業」→市民委員会、社会福祉協議会、旭川医大、神楽・西神楽地域包括支援センター、緑が丘スポーツクラブ、民生・児童委員等が連携協力し、高齢者のふれあい交流のできる事業はどうか。（ゲーム・ダンス・歌など） 	
(6) その他自由意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい委員体制下で、最初にしっかり組織の在り方等を説明し、理解を得た中で様々な意見交換が行われれば、その後の展開は楽になると思う。 ・ 事業等を実施しても、参加者の固定化があり、啓発方法や住民ニーズの把握も必要である。 	

※回答者によって、未回答項目や複数回答等もあったため、項目によって人数が異なります。